



共感できるメディアに。

花田 由香子

今年度から、弘前市立図書館指定管理業務にFMアップルウェーブの担当者として携わるようになりました、アナウンサーの花田と申します。

FMアップルウェーブが弘前市立図書館の指定管理者として携わるようになり、8年が過ぎました。追手門広場にある弘前図書館は今年開館35周年。その中の8年というのは、なかなか時間を占めてきているのではないのでしょうか。

FMアップルウェーブでは、朝と夕方、『図書館へ行く』というコーナーで、弘前市立図書館で行われるイベント情報や本に関する話題、図書館と弘前市立郷土文学館にまつわる情報を放送しています。その中でも、弘前市立図書館の新着図書情報とスタッフおすすめの本を紹介する回があります。スタッフさんおすすめの本で、ときどき人間関係や働くことに対するご自身の経

験をもとに、読んで役に立ったであろう本が登場するのですが、その本は私たちアップルウェーブのスタッフにも「ささる」ことがあります。放送されるタイミング・季節などを考えてピックアップしていらっしゃると思います。社会人の年度サイクルはたいいていの人がそうズレることはないの、おそらく多くの人たちが同じようなタイミングで、同じようなことで悩んだりすることがあるかもしれません。

図書館のスタッフさんも、スタッフ同士、そして本を借りに来るたくさんの方とのやり取りの中で、「思うこと」があるのだらうな、と親近感がわく瞬間でもあります。それは私たちだけでなく、ラジオを聴いてくださっている人の中にも、たくさんいるのではないかと思います。

FMアップルウェーブは今年開局25周年。この25年の間でメディアの在り方はだいぶ様変わりしているといえます。ここ最近では「オールドメディア」「ニューメディア」という分類の仕方をされていますが、FMアップルウェーブはコミュニティFMラジオであり、「オールドメディア」側です。新聞・テレビ・ラジオ・雑誌の、これまで4大マスメディアと言われている媒体です。

みなさんはラジオを聴きますか。日常的にラジオを聴いていますか。音楽サブスク時代のいま、ご家庭に「ラジオが無い」という状況は増えていると思います。25年前、世の中は音楽を聴くにはCDの時代。いわゆるCDプレイヤーにはラジオ受信機能があるものが多かった時代です。今はなかなか手元に「受信機」が無い人が多

いと思いますが、アップルウェーブのホームページから、ネット上で聴くこともできます。それでも、ぜひひとつ、周波数を合わせて、さらに昔ながらのアンテナをびーんと伸ばしてぐるぐるしていると、ピタッと良い音で聴けるようになるようなラジオをご家庭にご用意いただきたいのです。おそらくそれは乾電池で動きます。最近話題の発火事故が多発するようなものではないです。停電した時、通信障害があった時、災害が発生した時、きつと役に立つはずですよ。もちろん、何気ない瞬間にも聴いてほしい。誰かの何気ない言葉に、急に親近感がわいたり、共感したりすることがあるかもしれませんよ。

(アップルウェーブ放送部副部長・アナウンサー)



開局 25 周年でリニューアルした中継車



イベント実施報告 5月～8月

〈全館合同〉8月1日～8月31日

4館スタンプラリー

夏だ！読書だ！図書館制覇だ！

例年夏に開催している4館スタンプラリーは、おかげさまで今年で9回目を迎えました。今年の全館制覇の記念品は、スタッフ手作りの貸出カード風のメモ帳です。ご参加された方からは、「他の図書館に行くのは初めて」「去年は4回まわりました！今年の景品もすごいですね！これから全館制覇頑張ります！」などのお声もいただきました。

〈弘前図書館〉5月17日

手作り絵本講習会

世界に1冊の自分だけの絵本が出来ました！



絵本の作り方を教えるささ先生

今年も絵本作家ささやすめさんを講師に迎え、手作り絵本講習会を開催しました。「早く絵本作りたい！」と、元気に会場入りする子どもたち。いざ始めるとちよっぴり緊張気味でしたが、ささ先生の優しい声掛けに次第に緊張も解け、笑顔も見られました。絵本の内容をささ先生に相談しな



スタンプラリーの様子

がら決めたり、描き方が分からない絵は、特別にささ先生がお手本を描いてくれたり、参加されたご家族にとって素敵な時間になったことと思います。

〈弘前図書館〉7月5日

調べる学習特別講座in弘前図書館

「どうして？」を本で調べてみよう

「調べる学習コンクール」に関する館内講座を、小学生以上を対象に開催しました。講座ではテーマの決め方や調べ方、本の探し方などを学んだ後、実際に図書館の本を使って、自分で考えたテーマについて調べてもらいました。予想（仮説）を立てる部分や本探しに苦戦する様子も見られましたが、本で調べていくうちに新しい疑問や調べたいことが見つかったという人もいて、講座を通して調べ学習の楽しさを知ってもらうことができました。



館内講座の様子

〈弘前図書館〉7月12日

弘前ライブラリーシネマ

「かがみの孤城」を上映

7月12日、弘前図書館にて映画会を開催し、



今回は辻村深月原作のアニメ映画「かがみの孤城」を上映しました。この作品は、原作が本屋大賞受賞ということもあり、劇場公開時にも大変話題となった感動作です。参加された方からは「とても心に響く内容で良かった」「感動して涙が止まらない」などのお声をいただきました。

〈弘前図書館〉7月19日

弘前図書館ライブラリースクール

「恐竜と古生物のふしぎ探検」恐竜大好きキッズ大集合!!

国立科学博物館の木村由莉博士を講師に迎えてライブラリースクールを開催し、午前の部、午後の部とで、恐竜好きのご家族など合わせて90名が参加してくれました。午前の部では、研究が進むにつれて定説がどんどん変化することなど、クイズ形式でわかりやすく説明していただきました。午後の部では、波も化石になることや、骨格標本の保管の様子、さらにはサイの標本を使って骨格や筋肉の位置を実際に触りながら教えていただきました。また、苦手な数学をどうやって克服したのかもお話ししていただき、質問コーナーでは子どもも大人も盛り上がり、木村先生もたくさん質問に答えてくださいました。



骨格標本を解説する木村先生



〈弘前図書館〉7月26日

夏休みおはなし会

おばけたちが大集合！

毎年恒例の夏休みおはなし会。今年は読み聞かせボランティア「しらゆり会」の皆さんが「おばけ・妖怪」をテーマに5つのおはなしを聞かせてくれました。当日は24名の方の参加があり、こわーいおばけに思わず身を寄せ合ったり、かわいいスポンジおばけと体操したり、合わせておばけとクイズを楽しむなど、賑やかで楽しいおはなし会となりました。



スポンジおばけと体操する子どもたち

〈弘前図書館〉7月30日～8月1日

図書館のお仕事やってみ隊

図書館のお仕事にチャレンジ！

7月30日から8月1日の3日間にわたり、「図書館のお仕事やってみ隊」を開催しました。今年は14名の参加がありました。子どもたちは1日図書館員として、カウンター業務やレファレンス体験など、様々な図書館のお仕事に挑戦しました。お仕事の大変さを感じながらも、楽しんで一生懸命取り組んでくれました。将来の夢のひとつに図書館のお仕事を選んでもらえたら嬉しいですね。



本にフィルムコートをつける様子

本にフィルムコートをつける様子。お仕事に挑戦しながら、お仕事の大変さを感じながらも、楽しんで一生懸命取り組んでくれました。将来の夢のひとつに図書館のお仕事を選んでもらえたら嬉しいですね。

〈岩木図書館〉7月19日

自分だけの万華鏡を作ろう！

世界に一つだけのオリジナル万華鏡！



子どもが覗く完成した万華鏡

7月19日に、空き箱やペットボトルなどの廃品を利用したオリジナルの万華鏡を作るイベントを開催し、元気な小学生が7名参加してくれました。皆さんとても集中して作業に取り組み、スムーズに工作を進め、あっという間に万華鏡が完成しました。万華鏡を覗いた子どもたちからは、「きれい！」と歓声が上がっていました。

〈こども絵本の森〉7月18日～8月20日

夏休みおはなしクイズラリー

おばけだらけの賑やか夏休み

今年のテーマは「おばけの夏休み」。麦わら帽子をかぶった唐傘おばけやプールで遊ぶカッパなど、夏らしい装いのおばけたちが館内に大集合しました。今年はクイズラリーのほか、自分で答え合わせができる間違った探しや、オリジナルの妖怪を作るコーナーなども用意しました。参加してくれた子どもたちは、思い思いに、おばけとの夏を楽しんでいました。ご参加ありがとうございました。



クイズラリーに参加するご家族

〈相馬ライブラリー〉7月17日～8月31日

本のおたのしみくじ2025 in そうま

おともも子どももみんなで参加しよう！



子どもたちが引くくじ

毎年恒例の夏休みの特別企画「本のおたのしみくじ」を今年も開催しました。くじを引いて本を借りてもらうというイベントで、幼児から大人まで参加していただき、読書通帳を差し上げました。参加者からは「自分では選べない本を借りるのもいいですね」「読書通帳を選べるのも楽しい」などの感想をいただき、とても好評でした。

〈相馬ライブラリー〉8月9日

さいたさいたおはなしの花 in そうま

おはなし会にみんなあつまれー！

中央公民館相馬館の和室で夏休み特別企画おはなし会を開催しました。おはなしボランティア「おはなし会ひまわり」と「スキップわくわく」が、絵本の読み聞かせやリズム音読、歌や体操などを披露してくれました。中でも、阪田寛夫作の『お経』という詩を、和尚さんに扮して木魚やおりの音とともにリズムミカルに朗読する演目に、子どもたちが見入っている姿が印象的でした。



おはなし会の様子



弘前図書館初！ ライブラリースクールを開催しました！！



弘前図書館では初開催となるイベント「ライブラリースクール」を、7月19日（土）に行いました。国立科学博物館の生命進化史研究グループ研究主幹である、木村由莉博士をお招きし、午前の部・午後の部に分けて、古生物や恐竜の化石のお話や、古生物学者になるまでのお話をさせていただきました。

大好評のうちに終了したライブラリースクールの様子を、たくさんの写真で紹介していきます。

午前の部

恐竜がもっと好きになる、古生物がもっと知りたくなる化石の話

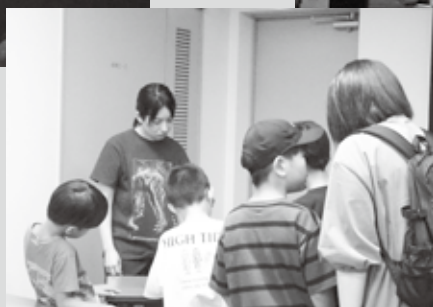


→波の化石の紹介
「波も化石になるの!？」



↑夏休みに入った子どもたちに、夢を見つけることの大切さを伝えてくださいました。

骨格標本に子どもたちは→興味津々！



午後の部

もがいてもがいて、古生物学博士になりました



←子どもたちの質問に答える木村博士



↑「化石ハンター展」での「チベットのサイ全身復元プロジェクト」のお話もお聞かせくださいました。

←ニホンサイの骨格標本を手に、骨格の種類の違いや筋肉の付き方などを説明。



次回のライブラリースクールもお楽しみに！



図書館スタッフが
おすすめする

BOOK REVIEW この本が面白い!

『フェイクを見抜く』

唐木英明、小島正美/著
ウェッジ
2024年刊



ネット上で簡単に情報が手に入る現代。その情報、本当に正しいですか？
いとも簡単に私たちの目に触れるようになったフェイクニュース。そのようなフェイクはなぜ、どのように作られるのか。なぜ人はフェイクに簡単に騙されてしまうのか。本書では、世間を騒がせた具体的な事例を挙げながら、フェイクへの対処法を紹介しています。巷にあふれるニュースの真偽を見分ける力を、この本で学んでみませんか？

『たんぱく質と腸の新常識』

平島徹朗、秋山祖久/著
Gakken
2024年刊



腸内細菌のバランスの崩れで腸の細胞に隙間ができ、栄養素や細菌が漏れ出る症状を「腸漏れ」というそうです。本書では、腸漏れにより細胞や筋肉を造るたんぱく質が吸収されずに不足し、十分に細胞を造れず腸漏れがまた悪化する悪循環を指摘しています。十万人を診てきた専門医が、身体の不調を招く腸漏れを改善するための新腸活を提案。不調がある方、肥満・老化に気を付けても効果を感じにくい方は参考になるかもしれません。

『俺の文章修行』

町田康/著
幻冬舎
2025年刊



1章の「文章力と読書の関係」から33章「高尚の罠」「内容の罠」と「表現の罠」まで、著者の文章に対する考え方、技巧論、発想の源泉などについて書かれています。
人は程度の差こそあれ承認欲求があり、それを磨き上げ洗練させ、その人独自の文体を作り上げていくのかもしれませんが、本文の言葉を引用するならば「言葉を生きたる、言葉が生きたる、死に接近する、生が輝く、言葉が光る」。まさに言葉が心に突き刺さる鬼気迫る文章論です。

『ロールモデルがない君へ』

キリーロバ・ナージャ/著
KADOKAWA
2024年刊



子どもの頃や10代の頃に、ロールモデルがいなかった12人の様々なルーツを持つ人が、自らのライフストーリーを語り、次の世代へエールを贈りたいという著者の思いから作られた本です。12人の幼少期や学生時代、社会人になってからも苦しんだり悩んだりした話もあり心が痛みましたが、次の世代への前向きなエールに私も励まされました。著者の意向で漢字にふりがながふってあるので、様々な人に読んでほしい1冊です。

『パンダを飼ったらいくらかかる？ 妄想お金ガイド』

北澤功/著
日経ナショナルジオグラフィック
2023年刊



動物園や図鑑で見るあの動物と、もしも一緒に暮らしたら？ そんな妄想を獣医師である筆者が、様々な動物ごとに飼育環境を整え維持する費用やエサ代、病気になってしまった時の医療費等をリアルに試算してみたこちらの本。
例えばタイトルにあるパンダは、中国からレンタルすることになるため、ペアだとレンタル料だけで年間1億円超えに！ 実際には飼えないからこそ楽しく妄想しつつ、動物の生態や魅力を知ることができる1冊です。

『ミルクの本』

ミルクマイスター高砂/著
自由国民社
2025年刊



隅から隅までとにかく牛乳！牛乳の基礎知識から日本全国のご当地牛乳まで紹介しています。スーパーでよく目にする弘前市の商品も掲載されており、その特徴について改めて知ることができます。遠く離れた沖縄県の牛乳や、季節によってパッケージや名前が変わる広島県の牛乳など、その土地の自然の豊かさを感じながらいつか飲んでみたいものです。600種類以上の牛乳を飲んだ著者の、濃厚なミルク愛を味わえる1冊です。



スポンサー雑誌コーナーがリニューアル！ & 新しいスポンサー雑誌が加わりました！

6月20日（金）より、弘前図書館のスポンサー雑誌コーナーをリニューアルいたしました。各雑誌の表紙が一目でより見やすくなるように並べています。バックナンバーは下段に配置しています。ぜひご利用ください。

また、新たに2つの事業者（寿司酒場しもやま様、中畑歯科診療所様）が雑誌スポンサーに加わり、季刊誌『dancyu』と『猫びより』を提供していただいております。

弘前市立図書館では、社会貢献のための具体的な活動のひとつとして、図書館の雑誌購入費用をご負担いただく雑誌スポンサーを募集しています。市内の事業者の方のご参加をお待ちしております。



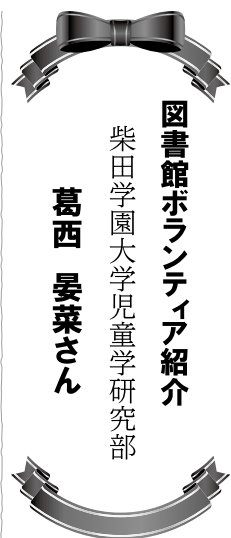
―読者の方へメッセージ―
これからのボランティア活動でも、たくさん子どもたちや保護者の方々とお会いし、皆さんを笑顔にできることを楽しみに頑張ります。

―おすすめの本を1冊教えてください―
『バムとケロのそらのたび』
島田ゆか作・絵 文溪堂 1995年
この物語は、バムとケロがバムのおじいちゃんの家へ行くために、おじいちゃんの手紙を手がかりに飛行機で大冒険するお話です。2人の冒険や日常がとても細かく描かれているため、何度読んでも新しい発見ができる、楽しくワクワクする絵本です。



―活動のおもしろさや楽しさ、やりがい―
学校内や日常生活だけでは関わることでできない様々な方と協力し、貴重な活動をやり遂げることにやりがいを感じています。特に絵本の読み聞かせでは、どのようにしたら子どもたちが喜ぶのかと試行錯誤し、実際に子どもたちが活動に興味をもち、楽しそうにしている表情を見ると嬉しくなります。

―所属団体、活動日（回数）などについて―
22名の部員が所属しており、年に3回程の弘前市立図書館での読み聞かせや、その他のボランティア活動を行っています。



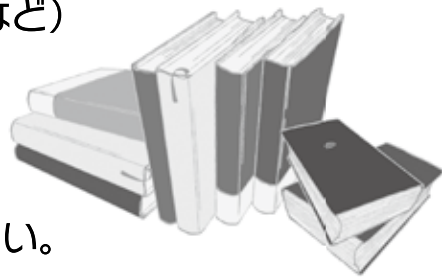
図書館システムの入れ替えにともなう 全館臨時休館のお知らせ

弘前図書館・岩木図書館・こども絵本の森・相馬ライブラリー・移動図書館車はとぶえ号

2025年 **【休館期間】**
9月10日(水) ～ 9月30日(火)

◆ 休館中ご利用いただけないサービス

- ・ 来館してのご案内（貸出・返却など）
- ・ インターネットサービス（蔵書検索・予約など）
- ・ 貸出期限の延長
- ・ 電話・メール等でのお問い合わせ



◆ 休館中の図書の返却について

休館中の返却は図書返却ポストをご利用ください。

〈返却ポスト設置場所〉

- ・ 弘前図書館 ・ 岩木図書館 ・ こども絵本の森 ・ 相馬ライブラリー
 - ・ 弘前市まちなか情報センター・弘前市総合学習センター・JR弘前駅2階(駅ピアノ付近)
- ※視聴覚資料、紙芝居、大型絵本は返却ポストへは入れずに、開館後にカウンターへの返却をお願いします。

◆ 資料の貸出期間について

返却日が休館期間にあたる場合は、あらかじめ延長して貸出します。

◆ インターネットサービス休止について

- ・ 下記の期間は蔵書検索・予約・延長などすべてのインターネットサービスがご利用いただけません。

【休止期間】 9月9日(火) 19:00～10月1日(水) 9:30まで (予定)

- ・ 「新着案内配信サービス」で登録した内容は、新システムに引き継がれませんので、ご自身でメモを残す等の対応をお願いいたします。
- ・ 新システムに初めてログインする際は、ご自身でパスワードを再設定する必要があります。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

2025年10月1日(水) より、通常通り開館いたします。



お知らせ・図書館イベント等の情報 10月～11月

※都合により、変更になる場合がございます。

開催館・日時	イベント名	内容等
弘前図書館 10月11日(土) 13時30分～14時35分 (5分休憩あり)	第8回 小学生に贈るおはなし	【対象】小学生、幼児、おはなしに興味のある方 【定員】30名(先着順) 【語り手】読み聞かせボランティアの皆さん 【申込】9月6日(土)9時30分から弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 10月12日(日) 13時30分～16時	移動図書館車はとぶえ号 1日開放	【対象】どなたでも(申込不要) 【場所】弘前図書館東北電力側玄関前 【内容】はとぶえ号の見学、本の貸出など。
弘前図書館 10月25日(土) 9時30分～13時頃まで ※午前9時より東北電力側玄関前にて 整理券を配布	雑誌の無料配布	【対象】どなたでも(申込不要・先着順) 【内容】保存期間を過ぎた雑誌のバックナンバー 約1,000冊を無料で配布。 【冊数】お一人様7冊まで(同タイトルは3冊まで) 雑誌の付録はお一人様2点まで ※持ち帰り用の袋などをご持参ください。 ※事前の予約や取り置き、再入場はできません。 ※雑誌の古書店等への売却はご遠慮ください。
弘前図書館 11月1日(土)13時～16時	バリアフリー映画会	【上映作品】『九十歳。何がめでたい』 【定員】50名(先着順) 【申込】10月6日(月)9時30分から弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 11月9日(日) 10時～13時30分(30分の休憩含む)	おはなしと読み聞かせ講習会 ～弘前図書館おはなしパートナー養成～	【対象】読み聞かせボランティアに興味がある方や 読み聞かせの各種技法を仕事等で役立てたい方 【講師】JPIC読書アドバイザー 高嶋 敬子さん 【内容】絵本の読み聞かせと紙芝居の実技・実演方 法の指導/弘前市立図書館での読み聞かせ ボランティアの活動内容の紹介 【定員】10名(先着順) 【持ち物】絵本1冊、筆記用具、飲み物、軽食(希望者) 【申込】10月11日(土)9時30分から弘前図書館 カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 10月17日(金)～11月19日(水)	秋の読書週間 「いくつのえほん」	【場所】弘前図書館 児童コーナー 【内容】ママ・パパが選んだ親子で読みたい年齢別 絵本「いくつのえほん」に掲載されている 100冊程度を展示・貸出します。
岩木図書館 10月18日(土)～11月16日(日)	秋の読書週間	【対象】どなたでも(申込不要) 【内容】果物カードにおすすめの本について記入し ていただき、展示・貸出をします。
こども絵本の森 10月1日(水)～11月9日(日)	秋の読書週間 「おととアートとえほんの森」	【対象】どなたでも(申込不要) 【内容】音符カードにおすすめの本について記入し ていただき、展示・貸出をします。
相馬ライブラリー 11月25日(火)～12月1日(月)	相馬地区文化祭特別企画 ライブラリーで謎解きゲーム	【対象】どなたでも(申込不要)

弘前図書館
開館時間
平日 9:30～19:00
土日祝 9:30～17:00
休館日…毎月第3木曜日
※その日が祝日の場合はその翌日
年末年始
蔵書点検期間
電 話 32-3794

岩木図書館
開館時間
平日 9:30～19:00
土日祝 9:30～17:00
休館日…毎週月曜日
年末年始
蔵書点検期間
電 話 82-1651

いづも絵本の森
開館時間
10:00～18:00
休館日…毎月第3木曜日
※その日が祝日の場合はその翌日
蔵書点検期間
電 話 35-0155

相馬ライブラリー
開館時間
9:30～17:00
休館日…毎週水曜日
年末年始
蔵書点検期間
電 話 84-2316

発行：指定管理者 TRC・アップルウェーブ・弘前ペンクラブ共同事業体

